

タウンミーティング(2022.5.29 開催 場所:健康増進施設いきいきプラザ) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
1	<p>吉沼、上郷キャンプ場(ふれあいの里を指している)。とても自然豊かなところで、いいキャンプ場になるのかなと思います。あともう一つつくば市内でグランピング、バーベキュー場市長反対なされていますけども、もともとバーベキューというのは、外国から伝わってアメリカでは自分の庭でやるのがバーベキューだそうです。それで、煙が出るとか、そういう騒ぎですが、日本では炭でやるのが多いと思うんですね。炭ってのは私子供の頃、炭のコタツがあります、煙は出ません。それから火鉢、煙は出ません。それから、足が冷たいときに、品川あんかでご存知じゃないかもしれませんが、豆炭という炭を固めたものを布団の中に入れても煙は出ません。じゃあ、煙はどこから出るのか。焼肉やれば、肉が焦げて、それは家庭でも同じことです。魚を焼きます、肉を焼きます、煙が出て換気扇で外に出します、一緒です。だからそんなに心配することないかなと思います。それから、キャンプ場は管理されます。これなぜかっていうと、火事になったりとか、事故に遭ったりとかがあるので人がいて管理するわけです。先ほど、後ろの方にね、お世話をする方がいました。そういうまちにあります。山の中でキャンプやってくれ、誰もいないところでやってくれ、これ山火事になります。消防車は入れません。火事消せません。人がいるところでこういうのをやるから、安全なんです。安心なんです。いかがでしょう。</p>	<p>洞峰公園のことをお話をされてるかと思いますが。県が、洞峰公園にリニューアルをして、そこにグランピングであるとか、バーベキューといったようなものを整備をするという計画が示されましたが、私どもがそもそも懸念しているのは、グランピングというのは宿泊施設なわけですけれども、洞峰公園がすでに完成された環境だという状況の中で、朝早くから、例えば散歩をしている方、或いは親子連れでゆっくり過ごしている方とかいらっしやる中で、そういった環境を一変させてしまうような、必要性がないんじゃないかということ、問題提起をしているわけですね。そもそも、あのエリアは、宿泊施設はつくれないエリア。そのことは当然県に事前に随分前から伝えてあるんですが、あのような計画が一旦出てきましたので。煙はかなりいろんな形で出ると思いますけれども、私自身もキャンプ非常に好きですし、バーベキューも好きですし、ただ、それには適地というものがあるんじゃないですかと、住宅地の中の非常に閑静な公園の中で、それをやると。しかもすでに今も週末など渋滞していますが、そういう状況の中で、東京や県外からも連れてくるという計画のようですねけれども、そういうプランである必要はないんじゃないでしょうかということ。今、もちろん知事とも話していますけれども、県の部長と様々やりとりをしまして、一緒にアンケートをまず取りましょと、説明会もやりましょという話をしています。そういう中で、どういう意見が出るかというのを、お互いに共有をして、じゃあどういう方向性であれば、地域にとって本当に望ましい、いい形の公園になるかというのを一緒に考えましょということについて、合意をしていますので。今、我々としてのたたき台は県にも届けてはいるんですけれども、県の方で説明会の準備等をしていただいていますので、そういう際にぜひご参加をいただいて、またそこでご意見をいただいでいくのがいいかなと思っていますし、その説明会にも参加できなくても、インターネットでのアンケートをやるという約束は、県ともしていますので、ぜひ本当にいろいろな形のご意見をいただいで、結果としていいものになっていくように、私としても努力をしていきたいというふうに思っていますので、ぜひそういう際はご意見お寄せください。</p>

タウンミーティング(2022.5.29 開催 場所:健康増進施設いきいきプラザ) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
2	<p>①つくば市は28年間、茨城県不動産鑑定士協会に随意契約をしてるんですね。私、長年不動産鑑定士をやった方から資料をいただきました、それは随意契約なので、高めだっってやはりおっしゃってたんですね。その今お配りした見積もり計算書なんですけども、Cって書いてある鑑定評価作業以外は、協議打ち合わせ、現地調査等は鑑定評価の作業の一環、あと交通費等も別に別途計上されてるんですけども、これも鑑定評価作業の一環ということで、ほか、材料費っていうのは、協議会から言いますと、コピー代と文具代ぐらい。間接費っていうのはその鑑定士の土地研究、あとは研修。そういう個人のスキルアップ向上のためのものかと思われる。そういう計上もしているんで、何かとても高くなってらるんですね。本来、鑑定というものは、広さ、何地点でいくらっっていう決めるのが基本だということなので、ぜひそういうところを、これはどここの部署でやってるかわかんないんですけども、漫然と続けるのではなくて、そういう無駄と思われる経費をちゃんと見直して改善できるような職員、そういう教育の仕方をして欲しいなと思うんですね。ちなみに、今の1地点での市の単価報酬が5万290円なんです。その方が適正価格としてるのは3万1,600円です。すごく大きな開きがありまして、2億ちょっとぐらいの余分な経費が出てるということなので、私がこれ持ってても宝の持ち腐れなので、担当部署にお渡しして、今の話はちょっと私一番最初にこの資料をまとめたものなので、これを目に通していただければまずわかると思うんですね。そういう浮いたお金は、青い羽根の子供基金の給付型の奨学金とか、そういう節約した部分をそちらの方にまわして、子供たちのために使って欲しいなと個人的な意見ですけども、よろしく願います。</p> <p>②市長の、どうして委託するかっていう理由なんですけれども、そもそも鑑定協会全体に見積もりをすると…(マイクを通していないため聞き取れず)かきされるというか、引っかかるものがあるんです。日本鑑定士協会連合会が令和元年に出してることなので、それは本当は正しくないと思います。そういうようなこともありますし、だいたい競争入札は4万から6万で競争入札しますので、どこの市も安いので、そういうこともできる。調整機能がどうかっていうのはその資料に書いてあります。県協会は全然関わってないもので、調整機能はしてません。まったくそれは問題ないと思います。</p>	<p>①詳細に調べていただいてありがとうございます。この事業で、何が無駄になってるか無駄になってないかというのはちょっとこの場ではお答えができなくて申し訳ないんですが、市で大きな事業をやるときに、やはり協会に出すということは、間々行われることがありますね。やっぱり専門家がたくさん集まっている団体なので、個別に発注をしていくとなかなかやりきれないものも、そういう形の中で皆さんに分担をしていただくことの方が、逆に結果としてはいいことになるということがありますので、その象徴的な例が例えばコロナウイルスのワクチンですね、あるいは他のワクチンもそうだと思うんですけど、医師会に随意契約で委託をするようなことがあります。それが例えば割高なのかどうかと言われると、もちろん精査が必要ですが、やはりまとまった受け皿として、地域の皆さんがいらっしゃるというのも、一方ではあるのかなと思ってます。ただ、お話あったように、もし非常に多くの経費の差がそこにあるのであれば、そこは、ちゃんとそのいただいたものを読ませていただいて、協会とも話し合いを、どんなふうにしていけるだろうねなんてことは考えていきたいと思う。ご提案ありがとうございます。浮いた分は子どもに使いたいと思います。</p> <p>②分厚い資料ですね。わかりました。ちょっと読ませていただきます。</p>

タウンミーティング(2022.5.29 開催 場所:健康増進施設いきいきプラザ) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
3	<p>大穂中学校のPTAがなくなり、応援をする会というようなところに変更になって、また市内の中でもう一つ、PTAの会がなくなるというところなんですけども。今後何かそういうふうな方向になっていくのかを、今後活動していく中で、大穂学園をまとめる中学校がなくなっちゃうとなると、ちょっと皆さんびっくりはしてまして、正直そこら辺市の方でどのように考えていくのかを教えてください。</p>	<p>市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)</p> <p>市全体の話という前に、私の経験からちょっとお話をさせていただきますと、今全国的にPTAのあり方を見直さなくてはいけないよねという問題提起がされていて、例えばPTAって自動で今入学すると入る感じになってますけど、実はPTAって任意団体で任意制なんですよね。ですので、実は自動加入が憲法違反なんじゃないかみたいなことがあって、実際その可能性がかなり高いということで、意思確認をするというプロセスを取るPTAが増えてきています。実は私も、並木小学校でPTA会長を2年やったんですが、もう今から随分前ですけどね。そのときにも、まずいろいろアンケートをとりました。任意団体ってことご存知ですかとか、そういうことをやって任期終わったんですけど次の年のPTA会長さんがものすごいしっかりした方で、規約も全部作り変えられて、任意団体としての体裁を整えて加入制にしたんですね。そのことでかなり減るんじゃないかと思ったら意外とそうでもなくて、今でも9割近い方が会員になっていて。そういう中で議論をしてきたのは、やはり子どもにとっても、自分たちにとっても、やっぱりプラスになる活動じゃないとPTAやりがいないんじゃないのというような議論がされてきました。その過程で、今市内でも、学校の自分達のエリアの子どもたちのためには汗流したいけど、やっぱり上部団体の市のPTA連合会とかからは抜きたいという皆さんがちょっと増えてきている。その状況は把握をしまして、やっぱりその会議に年に数回でなくちゃいけないとか、結構負担であるとかですね、そういう声があって、それを突き詰めていくと、PTAって今後どうなってくるんだろうねというのはすごく大きなテーマなんです。特につくばの場合、学園単位でやっていますので、学園でいろんな活動されてる中で、あんまり受け皿がないところと、あるところとかなっていくと、話が難しい場面が出てきてしまうだろうなという懸念はしています。ですので、何らかの道標があった方がいいと思うんですが、PTAはあくまでも学校の中の組織なので、あんまり市がPTA作ってくださいとか、入ってくださいということは言えない立場にあります。実は、そういうことも含めて、さっきお話をした、このコミュニティスクールというのが、一つの今後の鍵なのかなと。地域の子供たちのために地域の皆さんが連携をして作って、この中にはPTAも入ってます。PTAも入る、でも保護者も入るし、地域のNPOも入る、行政も入ると、そういうような組織におそらく変わっていかないとかなかなかこう、今までのように1人の子どもに対して一つ役員やるとか、そういうのばっかりだと、おそらく今後、持たないところも出てくるのかなという感じはしています。少しこれも蛇足になりますけど、先日全国ニュースになったのは京都市のPTAの連絡協議会の皆さんが、全国のPTA組織から抜きたいですということを図ったような、その結果として京都のPTAの中で認められなかったんで</p>

タウンミーティング(2022.5.29 開催 場所:健康増進施設いきいきプラザ) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
		<p>すけどね。だから今、かなりPTAについても、今までなかった動きなども出てきていますので、これは今後どうするかというのはよく考えないといけないと思っています。ただ、個別の大穂について言えば、明日教育局と少し話をして今後どういうふうにするのとか、そういう話を個別にして、あまり皆さんが不安にならないような状況にしくちゃいけないと思いますので、貴重な問題提起ありがとうございます。ちょっと明確な答えでなくて申し訳ないんですけども、おそらく今後の行く先はこういう方向だとは思ってます。</p>

タウンミーティング(2022.5.29 開催 場所:健康増進施設いきいきプラザ) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
4	<p>素晴らしい取り組みをされていることに感謝申し上げますけれども、先ほど市長の方から説明あった高エネ研の未利用地。これは非常に私ども、大穂地区については、どういうふうな形で具体的に進められるのかな。これ昨年末に大穂の交流センターでお話を聞いたんですけども、あれから大分経ってるんですが、この話については、具体的にどういうふうに進んでるのかは全くわからない。やっぱりあの地がうまく利用されて、にぎわいを取り戻し、或いは活性化するためにはあの地をうまく活用するっていうのは、大穂地区のやっぱり活性化の最大のポイントではないかなと。吉沼だとか大曾根地区について市街地の活性化という取り組みをされておりますけれども、やっぱり人がどういうふうに集まってくるかっていうところは、非常に大事なのではないかなと私は思ってるんですが、この未利用地についてはあまり、あれから進んでないんじゃないか。ですから具体的にどうなるのかをちょっと説明をお願いします。</p>	<p>あの説明会の時は、こういう方針で進めさせていただきたいと思っております。というような話をしたと思うんですけども。その説明会の時との時系列が少しごっちゃになってたら申し訳ないんですが、基本的には民間への一括売却をするという方針です。それは、議会の皆さんから提言をいただきまして、その提言にまさにその地域の活性化の要素とか含めていろいろありましたので、そういったものをつくれるような、簡単に言うと雇用も含めてつくれるようなものにしていくということで、今公募をしているんですね。ですので、大枠を市としては示していて、それに対して応募しますよという企業の皆さんがいらっしゃいますので、その提案を今待っているところです。当然条件としてこういうものというのは、そこに付けているんですけども、それは当時説明会でお話をしたところから変わってはいません。締め切りが6月の10日頃で、6月18日に決定されます。それはプロポーザルで、審査員の皆さんが、地域の活性化に、この事業がどういうふうに資するか、価格面でどういう要素があるかとか、そういうことを審査員の皆さんが精査をして、この企業に売却をしましょうということになる。その際の条件の中には、4ヘクタールは、市の防災拠点にも使うというふうに書いてありますので、防災倉庫とプラスして先ほどお話したような自衛隊とか消防とか警察が有事の際に活動できる拠点であるとか、そういったものは入れ込んでいくプランになっています。ですので、今の状況は、おそらくまだ、今本当にいろんな形の企業が興味を持っていますので、サウンディング調査をしたところいろんな提案があったので、それは議会から提案されているものと企業がサウンディング調査で話をしてくれたものというのは、方向性は基本的には同じでしたので、そのうちのいろんな要素を組み合わせたものがここで出されていくと。だから今はわからないと思うんですけど、そういう意味では、あと3週間ほどすると、具体的な絵がここで見えるようになりますし、我々も当然、地域の皆さんにとってマイナスになるようなものをここに誘致できるわけありませんので、皆さんの働く場所としてもそうですし、皆さんが寄り合えるような場所もプランの中でいろいろ考えられていくと思いますので、そういったものをお示しできるんじゃないかというふうに思っています。確かに今はどうなるんだという状況ではありますけれども、もうちょっとお待ちいただければ、ちゃんとこういう絵ですよというのが見えると思っておりますので、今もどかしい思いでいらっしゃることは申し訳ないと思いますが、そこはちょっとご理解をいただければと。ちゃんと公正に審査をして、地域に資するものになっていけるというふうに思っております。</p>

タウンミーティング(2022.5.29 開催 場所:健康増進施設いきいきプラザ) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
5	<p>①多摩市というところで、今西東京市ってなってますけども、その頃その研究所は、東京の街中で手狭であんまり大きいプロジェクトもできないというので、将来的には、つくばの高エネ研と一緒に、大きな加速器研究プロジェクトをやりたいという話がありまして、大型ハドロン計画と呼んでたんですけども、その時は高エネ研の南側の敷地を取得して、そこに大きな加速器施設を作ろうと、何十年前だからその当時の数百億円ぐらいのプロジェクトだったわけですけども、そういうのがいろいろ進んで2000年ごろに、多摩市研究所は閉鎖になりまして、私はつくばに移ってきたんですけども、ただその後いろいろプロジェクトの方も紆余曲折がありまして、一番大きかったのは、省庁再編で文部省と科学技術庁が統合すると、文部科学省になったんですけども、その時に高エネ研と東海村の原子力科学研究所で割と近い計画プロジェクトが進んでいて、そこは文部省と科学技術庁別々だったんですけども、それをその省庁再編で、そのプロジェクトも統合しましょうということになりましてそれで結局、今東海村原子力研究所の敷地内にJ-PARCという名称のプロジェクトができて、大体そこで1,000数百億円ぐらいの予算のプロジェクトになったわけですけども、それで残念ながらつくばでそれをやるというのは話なくなりまして、いかなればJ-PARCには数百人ぐらいいると思いますけども、その数百人分の職場がつくばにできなくて東海村で決まった。私のような世代の人間はつくばに住んで東海に通うということをしてるわけなんですけども、若い世代の人間はもう東海の方に採用されて、東海村とかひたちなかとか水戸とか、その辺に住んでいる。その分、それだけの研究所ができなくなって空洞化して、人は減ってくるということになるわけですし、それは、省庁再編なんていうふうな国家レベルのことがあったんでどうしてもなんですけども、言いたいことは南側の非常に広い敷地でありまして、そこで何かをやろうというときには、非常に大きなプロジェクトをやろうというときには、そこがまず想定でき得るわけですし、これは筑波研究学園都市として、最大のインフラはサイエンスだと思んですけども、それを実行するための場所として非常に有益なものであるというふうに考えておりまして、そういう大きなプロジェクトが、どういうふうに出てくるかっていうのは、どんな分野でもすぐには言えないわけですけども、それをやろうというときにそういう敷地がつくばの非常に交通至便な場所にあるというのは非常に大きなことでありまして、非常に長期的に考えたときに、この敷地が使える状態であるというのはいいことだと思いますけども、これが売却とかで使えなくなるというのは非常に研究</p>	<p>①今ご指摘いただいたように、まさにここはもともとは研究用地として用意をされて、当時の地主さんとは売買をした形なんですけれども、そういう中で高エネ研が使う想定はあったわけですが、お話があったように、結論としては使われなかった。今回のサウンディングをする際にも、様々な研究機関にも当然この土地についての照会をかけて、可能性としてどうですかというような話もしたんですけども、残念ながら一つの研究機関からも、全く声は上がらなかったんですね。それが別に今回サウンディングをしたからなかったというわけではなくて、やっぱりこの数十年間そういった形の利用というのがなかったというのが現実としては問題としてあるわけですね。その中でつくば市がこの土地を買ったわけですけども、もともとはURが持っていた土地です。ここから先はこの土地をはたして、いつか何かのために持つということ、どういう判断をするかという政策的な判断になってくるわけですけども、もともと市の土地じゃなかった土地で、それを市が66億円で購入をして、利子も含めると今68.5億円かかっている土地なんですけども、言ってみれば市民の税金の68.5億円というのが、何も使われないまま止まってしまっているという状況は、やはり何とかしなくてはいけないだろうと私は思っているんですね。利子はもう、市が立て替えることによってまとめて返したんで止めることはできたんですけども、そういうことを考えると、今はもうここについては、もう本当にそういうお話も議会でもたくさん委員の皆さんから、いろんな角度からのこういうものを作った方がいいんじゃないかとか、こういう施設があるんじゃないかと、それは研究に限らずですね。たくさんお話をいただいたんですけども、最終的な形としては、やはり民間への一括売却をするということをしていかないと、やっぱりこのままの状況ですと放置をしていって、しかもそこに70億円近い税金が投入されたまま塩漬けになってしまうというのは、私が市長としては選択肢として持てませんので、議会の皆さんといろいろ話をしながら、今回のようなプランを作っているという状況なんです。一方でつくばが先端的な様々な事業をしていかなきゃいけないという思いは全く同じですし、その中で今つくば市としては、先ほどのスーパーシティの関連で、駅前にかかなり広い街区がありますので、その街区については文字どおりの最先端のサービスがられるような拠点にしていきたいと思っております。基礎研究の部分になってきますと、やっぱり各研究機関が我々が照会かけてもそういう状況ではありますので、何をどうするという事まで、こちらから踏み込めるものではないんですけども、そこで生まれた成果を今まで実証するフィールドがあまりなかったもので、そのフィールドとしてつくば市をきちんと機能させていくことが、研究学園都市建設から60年近くなることの、今のフェーズでの必要なことなん</p>

タウンミーティング(2022.5.29 開催 場所:健康増進施設いきいきプラザ) 懇談概要

参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
<p>学園都市としてのつくばの、先々にとってはちょっと残念かなと。何かの時にそういう大きいプロジェクトをやろうという話なったときに、土地があるなど。でも土地がないから、土地のある福島県とか、岩手県とか北海道に行こうかなとか。そういうことになりうるわけですし、それは明白に見えるんですけども、今、今日明日何に使うかというのは、すぐには言えないわけですけども、そういうのを使える状態に置いておくというのは、重要じゃないかなと私は思います。</p> <p>②政策的な判断という話がありましたが、そういうのは、今いろいろな研究所に照会してもそういう結果になる。これはもう言うなれば当然でありまして、そういう大きなプロジェクトというのは30年後50年後のタイムスケジュールでありまして、いつかはそういう話が出てくる。それが出てきたときに、あの時の土地があったらできたのに売り払われてしまったからできない。それは数十年後のスケールである話でありまして、つくば市は研究学園都市としての改革から50年ですけども、それは50年前にいろいろな研究所がやってきて、成果を拵えてきたそのレガシーが残っているのであって、その後そんなに大きいものは来ていない。そういう新しいプロジェクトがあって、新しい成果を出すような研究所をつくれるかどうかというのが、つくばの一番基本的なインフラでありまして、そのための機会、可能性としてそれがなくなってしまうのは非常に残念であると。</p>	<p>じゃないかなと。研究機関が来てくれるならいいんですけど、現実として来ないということは、これは市政を預かる者としては受けとめなくてはいけないというふうに考えていますので、その中でこのエリアを、さっきのお話にあったように地域の皆さんにも資するものにしていくというのが、今の時点での判断ではありますので、ご理解をいただければと思います。</p> <p>②お気持ちはよくわかりますので、必ずしもこの土地がなくなるとすべてなくなるということでも実はなくて、これも鈴木県議にいろいろアドバイスいただきながら、工業用地なり、新しい産業用地なりをどういうふうにしていくというのは県と様々話をしたりしますので、今この土地がなくなってしまったからといって、今後例えば仮に30年後に大型プロジェクトのようなものが例えばあって、じゃあ何もできないかという決してそういうことではなくて、何しろ私も少し前に防災ヘリでこの辺飛びましたけども、土地は非常にたくさんあるんですね。それを今かかっている規制がありますので、その関係でまとまった土地がつくれていないという状況の中で、ただ例えば、常総市であったり、つくばみらいであったり、新しい団地の用地を開発したりしていますので、決してそういうプロジェクトを今後する余白がないかという、ここは十分つくれるだろうというふうにも思っております。</p>

タウンミーティング(2022.5.29 開催 場所:健康増進施設いきいきプラザ) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
6	<p>高エネ研南側の話で、地元の方としては、地域の活性化に使ってもらいたい。これ本当に切実な要望だと思うんですね。今から50年前に坪1,000円で広大な土地を地元の地権者が提供したわけですよ。そのことはちゃんと地元のためになってくれないと困るというのは、当然の要件なわけですよ。これ強制買収ですから、国の研究機関をつくるのに大事なんだと。単に研究機関を移転させるだけじゃなくて、ここはやっぱり将来に向けて研究拠点にするんだと。そういった説明でまあそんなしょうがないかということで、地元は土地を提供したわけですね。それはもう一つ今、研究所関係の方の話がありましたけども、この土地高エネ研ばかりじゃないんですよ。他の研究機関から見ても、今すぐ何のプロジェクトということはないんですけども、ここが研究機関として使える状態にあるということになれば、いろんな研究分野の方がプロジェクトを考えるんですよ。先ほど今すぐ使うことはないかと言われて、そう答えが返ってくるのは当然なんです。この地元の役に立つのは何かってこともすぐには答え出ないわけですね。だけど今後やっぱり長い期間を考えると、必ず地元のために役立つ利用もあるだろうし、研究機関が使うこともあるだろう。もっと長いスパンで考えればこの土地は絶対に不要な土地じゃないんです。ものすごく大事なんです。研究機関なんか他にもいいだろうと言いましたけど、これもともと研究学園都市ってのは、北部の学術系と南部の研究所系に分けて作ってあって、それでここは東大通りと西大通りが交差する北部の学術系の中心地なんですよ。そういう意味では高エネ研よりももっと大事な土地なんです。将来の可能性ものすごい大きいんですよ。ですからもうちょっと長いスパンで考えなきゃいけない。それともう一つですね。まだ利用方法が決まってないと言っていましたね。プロポーザルやって提案をいただいと。五十嵐さんのYouTubeの発言なんか見ますと、どうも物流基地かデータセンターか。あとは電気自動車の研究所がという言葉が出てきたんですけども、そういったところがプロポーザル応募して、学識経験者の人がいいねと言ったら決まってしまうのかということになると、ちょっとこれは拙速すぎるんじゃないかと。しかもそのプロポーザルの内容公開されていませぬから、我々はここでもってどんな企業が応募して、どんな議論がされているんだと。審査員がどんな人なのかっていうの一切公開されてないですよ。結果が6月18日に出て22日までに公表されるということで、それで決まってしまうよというのは、どうもやっぱり民主主義の手続きとして余りにも乱暴ないんじゃないかと。それと最後に問題としては、先ほど五十嵐さんが70億の税</p>	<p>●市長 基本的には元本を30年据え置きという、返済しないで済むという契約を銀行が結ぶかどうかということですけども、そういうことはまず起き得ないだろうなということは思っているのと、あと強制収用ではないですからね。土地収用ではなくて、売買を当時もしていますのでその辺りはちょっと正しくは指摘をしておきたいと思います。 元本の話はそういうことができるかどうかということだと思いますけど。先ほど申し上げたように、この土地が重要だということをおっしゃっていますけれども、他にも土地を新しく作っていくという作業はされていますので、その皆さんおっしゃるように、その数十年先のためにこの土地をこのままにしていくよりは、この土地は使えるタイミングで、こういう具体的に事業の可能性のあるタイミングで使っていくことが地域のために私はなると思っていますし、そういう大きなプロジェクトが将来的に来れば、それに合わせて県とも様々相談をしながら土地を作っていくということは、いろいろな団地事業がそういう形で行われていますので、この土地がなくなるとつくばの未来がなくなってしまうようなことではないと私は考えています。 この状況のまま、いつ来るかわからないものに、ずっと待って、68.5億円のままにしておくのではなくて、ここは使える形で今活用をして、いざそういう場面が来たら、また別の団地用地を、県の方も、今本当に鈴木県議と様々相談しながら進めている事業もありますので、そういう際に備えれば、きちんと対応できるだろうというのが私の答えです。</p> <p>●他の参加者 地元としては早くしてほしい。開発。</p>

タウンミーティング(2022.5.29 開催 場所:健康増進施設いきいきプラザ) 懇談概要

参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
<p>金を投入して、その土地が塩漬けになってるっていうのは市の財政上受け入れがたいというお話ありましたけど、ちょっとこれよく考えて欲しいんですよ。本当にこれ70億投入したのと。実際違うんですよ。これ借入金なんです。今金利が安いので、この間財務に確認しましたところ、大体0.1%から0.2%の固定金利で30年から40年借りられるんですね。それだったら70億借りればいいんです。年間の利払いって700万円なんです。それで元本返す必要はないんですよ。元本は事業化した時に返せばいいだけ。そうなるんですね。これは年間700万円のコストで、この土地をこの先30年でも40年でもつくば市が預かることできるわけなんです。私それが一番いいと思うんです。それをやらないで、まず今のつくば市が売ろうとしている理由は二つあってですね。一つはあの土地は不要なんだと。変わりはいくらでもあるんだと。そんなことはない、あれは有用な土地なんだと。要するに地元のためにも研究機関の方も非常に大事だと。それからその財政的な理由ってのは、これはそうじゃないです。固定金利で70億借りれば、年間700万円の維持コストで利払いで30年でも40年でも預かることができるってことは、そうやって問題を解決することが可能じゃないですか。今慌てて売る理由は少なくとも何も無いと思います。五十嵐さん、何とかこれは今一括売却するのはやめていただきたいと。多くの可能性はですね。急ぐために様々な未来の可能性がなくなっちゃうというのは、これ長期的に行政を考える上で最悪なんです。しかもこの土地はものすごく大事な土地です。しかも地元の犠牲の上に研究学園都市2,700ヘクタールの強制買収で買った土地ですから、これをいい加減に扱うってことは今までの研究学園都市50年間の歴史に対する冒涇なんです。しかも、これを売ってしまうと、つくばは単なる、研究機関が移転してきた街になっちゃう。将来の研究拠点としての発展がなくなっちゃうんですよ。ぜひこれはもうひとつ、待ってもらいたいとそう思います。最後に、私の質問は財政的に本当に問題なのかと。70億を0.1%金利で借りればいいんじゃないかと。その質問に対しては今答えていただきたい。</p> <p>元本は事業化しなければいつでも売れる状態なんです。いつでも売れる状態だったら金融機関は元本返せと言いません。住宅ローンを元本返せというのは家を建ててしまうとそれは利用が始まって事業化してるわけです。それは売り物件じゃないですから元本返せというわけです。現に前に、確かに金利は高かったんですけども、0.5%の金利で年間3,000万円の利払いをしてるときに元本返せと言われてないで</p>	

タウンミーティング(2022.5.29 開催 場所:健康増進施設いきいきプラザ) 懇談概要

参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
<p>す。従ってお金を返す必要もなかった。ただ一旦返して、3,000万が700万になる可能性があるわけですね、借り換えは当然必要です。ですからあの土地を事業化するまでは金融機関は元本返せと言わないはずで。使った分だけは元本返さなきゃなんない。でもその事業はちゃんと予算化されてるわけですから幾らでも元本返せるわけです。元本返せない事業はやる必要ないわけですから、これは今つくば市は0.1%固定金利で、40年間70億を借りて、10年もたてば研究所の利用も地元のための活性化にでも出てきますよ。そこでこんなに急いでやることは何もない。こんなばかげたことやめて欲しいです。</p> <p>※マイクを通していない発言等、聞き取れない部分あり。</p>	

タウンミーティング(2022.5.29 開催 場所:健康増進施設いきいきプラザ) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
7	<p>ごみの減量の話があったと思うんですが、今ごみで他県に依頼してんですか。(市長:そうです。)その理由は何でしょう。(市長:焼却灰というものを処分する場所が、つくば市にはないんです。自治体によって持っているところと持っていないところがあるんですけども、最終処分場と呼ばれる、その灰を簡単にいうと埋め立てるような場所が、つくば市にはないんです。)その灰を処分してもらおう?(市長:トラック乗せて運んでいく。)わかりました。焼却炉確か4機あると思うんですが、燃やすマシーンが4台あって、1台がもうかなり前から壊れてるという話がありました。それ直す時って何億円かかるという見積もりがあって、結局それがそのままにしちゃった。だからそれがごみがどんどんたまる一方で、今ごみ焼却所の一番大きな問題で私が今日言いたいことは、あそこは土曜日一般市民のごみの搬入ですね。11時半までで制限されちゃって、それで10時半から11時半の間ものすごい混みます。行列のラーメン屋さん同じで。それでなぜそういうことなるのというのは、非常に危険なんです。市の10号線、真ん前のあの通りで、車が頻繁で要するに走る量ものすごい多いんですよ。それで私も今日これ、写真撮って、市長にお渡したいけど(資料提供あり)、ぜひこれ改善してということが一つ。今ごみ搬入して、4回入って出て入って出て4回必要なんです、その業務の見直し。あともう一つ、出入りは敷地内を利用して欲しい。敷地余ってる土地たっぷりあるのになぜ道路に持ってきてあそこ一般の市民の交通量と合わさっているのか。この危険性は本当にみんな見ないとわからないと思う。これ市長ぜひすぐ直して欲しい。入口のところの調整池ですか。あれ全く機能してない、作りっ放しで。いや本当宝の持ち腐れだあれ。ぜひこれ急いで改善して欲しい。</p>	<p>把握しております。今何が起きてるかという、まず受け付けをしますよね、おっしゃる通りで、受け付けをして出て、今度右折で出ていかなくちやいけないわけですよ。で、それで右折で進入するから、行列ができちゃって、非常に、おっしゃる通りよくない状況がありましたので、昨年末の持ち込みが多いタイミングで、誘導員をつけて、まさにお話いただいたような形で、中に入ります、敷地内でグルーっと回ります、ここに出て左折で計量ができるような動線を実験してみました。これで左折側が渋滞する分にはそれほど危険ではないので、これをやったんです。ただ、この外周路が、かなり舗装状態が悪く、あんまりでこぼこしてるとよくないですから、ちょっと舗装しないと厳しい状況があつて。敷地外の市道もあるので、ここをちゃんと舗装をすれば、今ご提案いただいたようにぐるっと回るコースで、左折で計量のところに並ぶ形ができれば、おそらくその渋滞の問題は、ほぼ改善するんだというふうに思っています。今、中で検討しているところです。</p>